



仙台市×東北大学  
スーパーシティ構想推進協議会  
設立総会

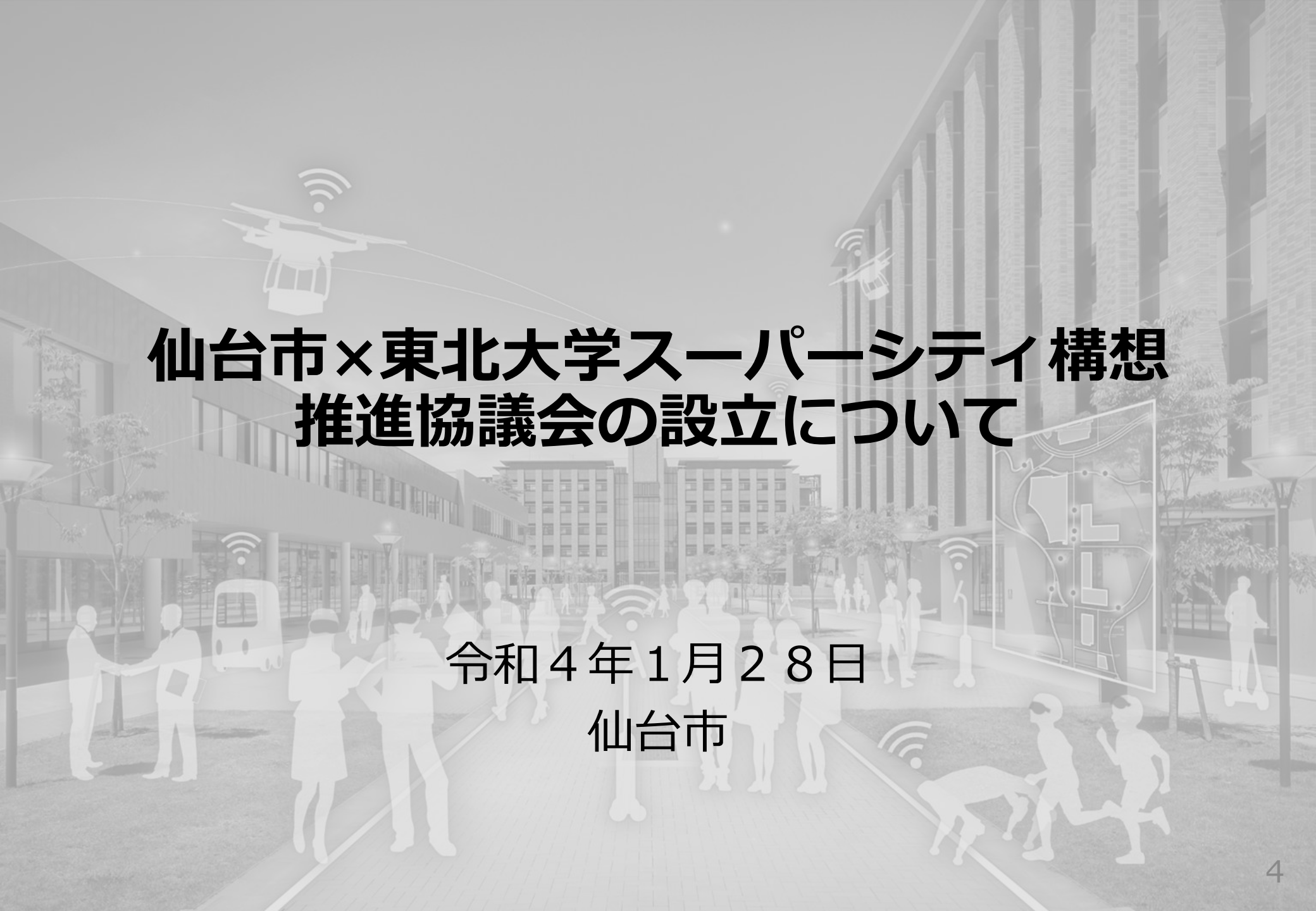
令和4年1月28日

# 次第

1. 開会
2. 挨拶（仙台市長 郡和子）
3. 議事
  - ・規約（案）の承認について  
（事務局説明：仙台市×東北大学スーパーシティ構想推進協議会（仮称）の設立について）
  - ・分科会の設置等について  
（事務局説明：分科会の設置等について）
4. その他
  - ・アーキテクトからのコメント
  - ・今後のスケジュール
5. 閉会の挨拶（青木リードアーキテクト（東北大学理事・副学長））

# 次第

1. 開会
2. 挨拶（仙台市長 郡和子）
3. 議事
  - ・ 規約（案）の承認について  
（事務局説明：仙台市×東北大学スーパーシティ構想推進協議会（仮称）の設立について）
  - ・ 分科会の設置等について  
（事務局説明：分科会の設置等について）
4. その他
  - ・ アーキテクトからのコメント
  - ・ 今後のスケジュール
5. 閉会の挨拶（青木リードアーキテクト（東北大学理事・副学長））



# 仙台市×東北大学スーパーシティ構想 推進協議会の設立について

令和4年1月28日  
仙台市



# (1) 仙台市におけるスーパーシティ・スマートシティに関するこれまでの動き

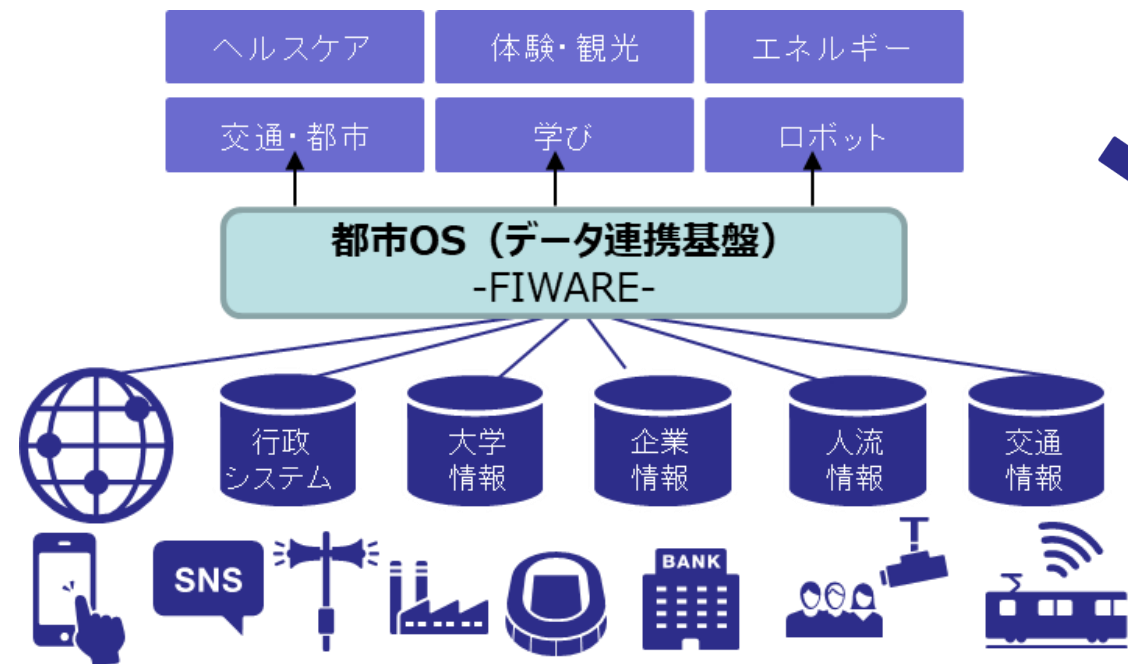
- (2) 仙台市におけるスマートシティの推進体制
- (3) 仙台市×東北大学スーパーシティ構想推進協議会（仮称）の体制

# (1) 仙台市におけるスーパーシティ/スマートシティに関するこれまでの動き

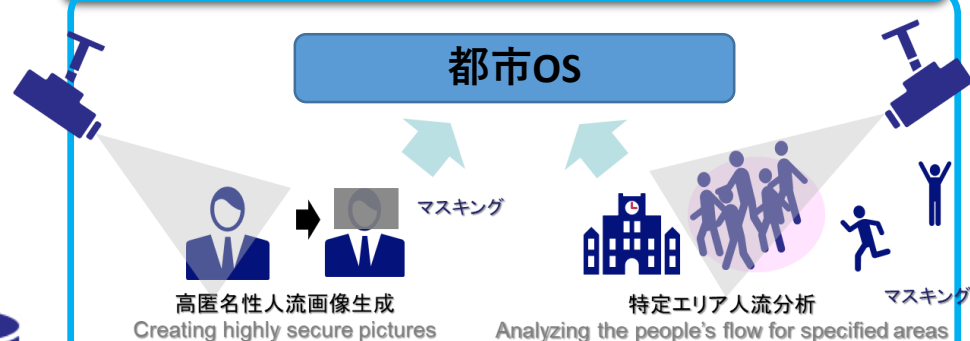
スーパーシティ	スマートシティ
仙台市×東北大学スーパーシティ構想参画事業者公募 (R3.1.20~R3.2.12)、参画事業者決定 (R3.3.18)	
仙台市×東北大学スーパーシティ構想準備検討会 (R3.3.24)	
<b>スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に関する自治体公募応募 (R3.4.16)</b>	
国家戦略特区ワーキンググループヒアリング (R3.5.18)	
仙台市×東北大学スーパーシティ構想シンポジウム (R3.6.12)	
	令和3年度スマートシティ関連事業公募 (R3.6.18~R3.7.19)、応募 (R3.7.19)
ヤッフア・ベンアリ駐日イスラエル大使が仙台市と東北大学を表敬訪問 (R3.7.28)	
第1回スーパーシティ型国家戦略特別区域の区域指定に関する専門調査会 (R3.8.6)	
	<b>令和3年度スマートシティ関連事業採択 (R3.8.24)</b>
<b>規制改革などの再提案を国へ提出 (R3.10.15)</b>	
アジア最大級の国際展示会「CEATEC 2021」において仙台市長が仙台市×東北大学スーパーシティ構想を紹介 (R3.10.22動画配信)	
国家戦略特区ワーキンググループヒアリング (R3.11.5、11.29)	
スーパーシティ構想推進戦略(仮称)策定準備 (R3.11~)	
スーパーシティ構想の実現に向けた先端的サービスの開発・構築等に関する実証調査業務へ応募 (R4.1.14)	
<b>スーパーシティ選定結果発表(時期未定)</b>	

# 【参考】総務省「データ連携基盤導入によるスマートシティ推進事業」

## データ連携基盤整備



## 「都市の見える化」実施例



人流カメラおよびAI・画像処理により  
人流および人物の密状態を見える化し、  
人流変化の分析や感染症対策の注意喚起  
等を支援

「仙台市×東北大学スーパーシティ構想」を実現するための第一歩として、データ連携基盤を導入。その上で、スマートシティのファーストステップとして、市民に分かりやすい「都市の見える化」の実現に向けたサービス提供に着手する。

# 【参考】国土交通省「スマートシティモデルプロジェクト」

## 「ドローンによる360°撮影」×「AVATOUR(360°リアルタイム空間リユース)」×「XR」による共体験

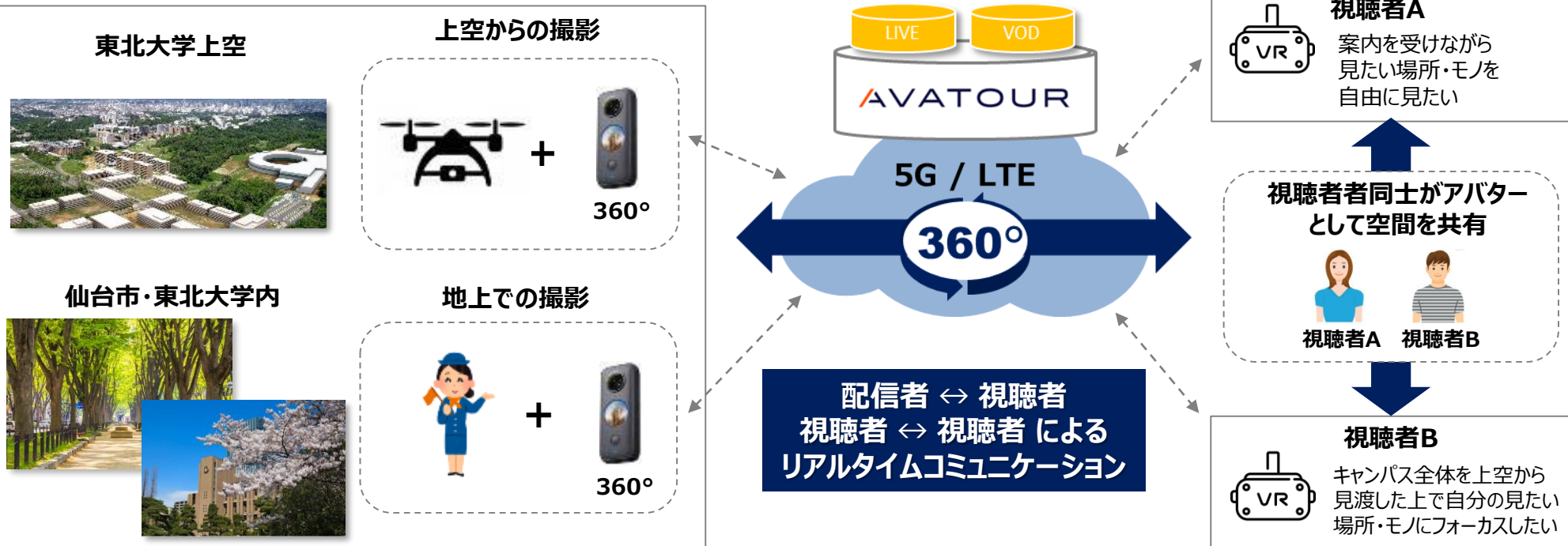
- ・リアル投影の360°視聴と、配信者と視聴者および視聴者同士のリアルタイムコミュニケーションで、**まちの魅力アップを創出**
- ・第一弾として東北大学や市内を対象に「360°カメラ」を使って撮影
- ・撮影した映像をプラットフォームにて管理し、遠隔地に配信
- ・配信映像をXRで視聴、視聴者は360°自由な視点で観たい景色をリアルに体感、かつリアルタイムで対話
- ・実験前後で体験者による魅力の質や強さの変化をアンケートと観察インタビューで分析/評価

※本プロジェクトでの視聴者は関係者のみ

配信者は視聴者とコミュニケーションを行いながら撮影/配信を実施

データのプラットフォーム  
管理/配信

視聴者は360°観たい視点で自由に映像を視聴





# 【参考】駐日イスラエル大使の表敬訪問



ベンアリ大使と  
藤本副市長



東北大学大野総長を訪問



ベンアリ大使の講演

## 7.28駐日イスラエル大使が訪問

「東北・イスラエルスタートアップグローバルチャレンジプログラム」で本市と連携するイスラエル大使館の**ヤッフア・ベンアリ大使**が仙台市と東北大学を表敬訪問。

仙台市×東北大学スーパーシティ構想についても意見交換を行い、**大使からは「ぜひ構想を支えていきたい」と応援をいただきました。**



# 【参考】CEATEC 2021へ出演



### 「仙台市×東北大学スーパーシティ構想」の狙い

#### 市民×大学×ビジネス (C-U-B: Citizen-University-Business) による協働

- 仙台では、復興の10年間で地域社会と科学技術の交点が急速に拡大
- ① 地域防災 → 国際的災害科学研究所 → "BOSAI"が世界用語 (世界防災フォーラム)
  - ② 地域医療 → 東北メディカル・メガバンク計画 → 未来型医療の拠点づくりへ
  - ③ 産学官連携 → 次世代放射光計画 → 新産業創造 (10年で1.9兆円規模) へ

#### スーパーシティ仙台により、都市のトランスフォーメーションを先導、東北全域へ展開 東京一極集中に対する多核連携の拠点機能を形成



## 10.22アジア最大級の国際展示会「CEATEC 2021」に動画配信

**アジア最大級の規模を誇るIT技術とレクとロニクスの国際展示会「CEATEC 2021」の地域ビジョン/地域戦略の発信コンファレンスにおいて、郡市長による「仙台市×東北大学スーパーシティ構想」動画を配信。**

本構想の実現のため、**世界に向けて意気込みを力強くプレゼン**しました。





(1) 仙台市におけるスーパーシティ・スマートシティに関するこれまでの動き

**(2) 仙台市におけるスマートシティの推進体制**

(3) 仙台市×東北大学スーパーシティ構想推進協議会（仮称）の体制

## (2) 仙台市におけるスマートシティの推進体制

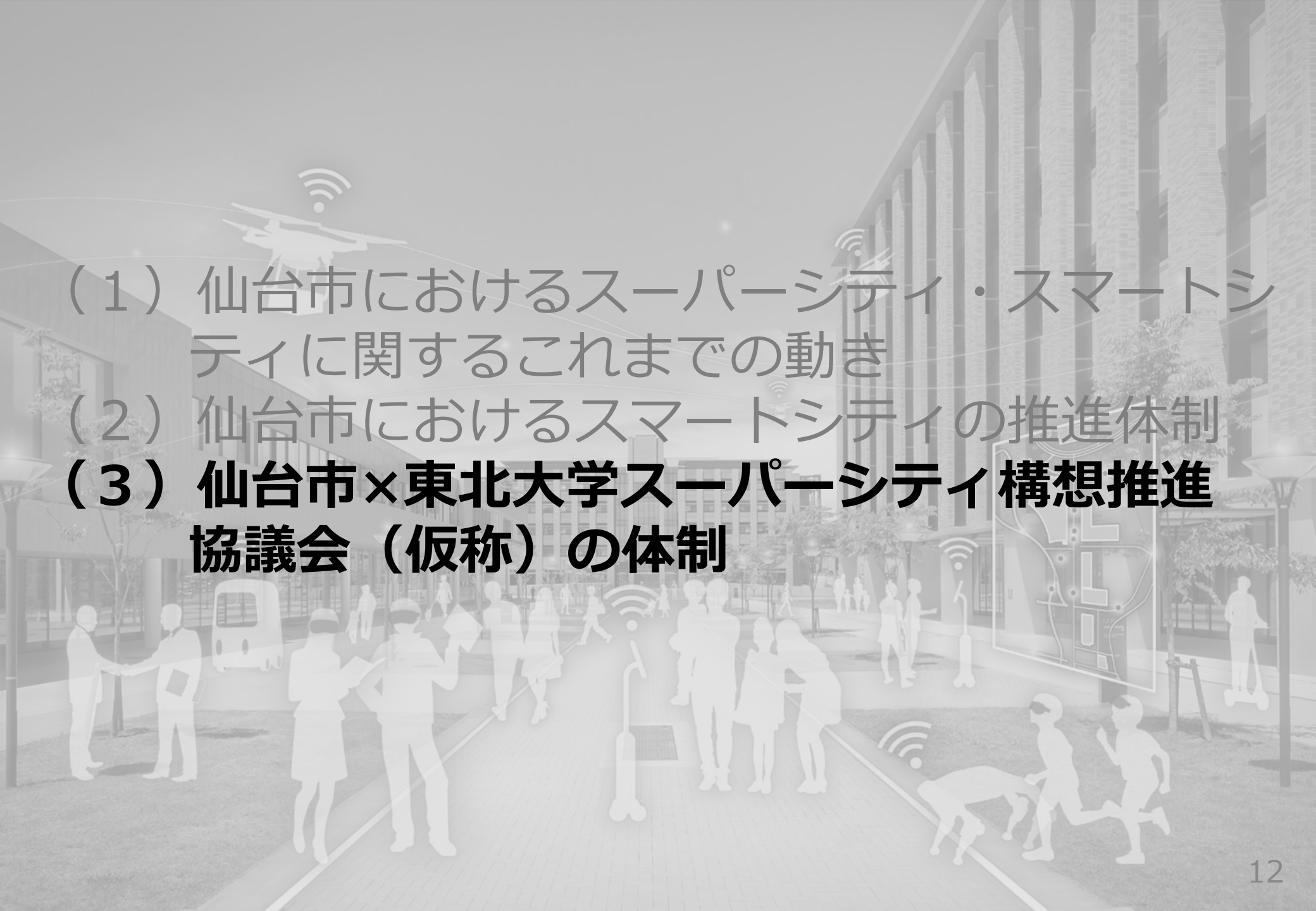
- ◆ 仙台市は、人口約109万人の政令市であり、多様なニーズをもつ住民が存在していることから、全市を対象エリアとする推進体制を設立するのではなく、エリアを限定した取り組みを重ねることにより、市内のスマートシティ化を推進する。
- ◆ 市内のスマートシティ化に向けては、エリア限定での取り組みだけでなく、市として共通化すべきルール等を検討し、共有する体制づくりが必要。そこで、エリアごとの取り組みを共有し、連絡調整を行う組織を別途立ち上げる予定。

主体	仙台市×東北大学 スーパーシティ構想推進 協議会（仮称）	仙台市泉区における 先進取組協議会	仙台市中心部商店街 活性化協議会		
エリア	東北大学 各キャンパス	泉パークタウン	中心部商店街		
スマートシティサービス					
プラットフォーム (データ連携基盤)					

情報共有・連絡調整を行う組織設立後

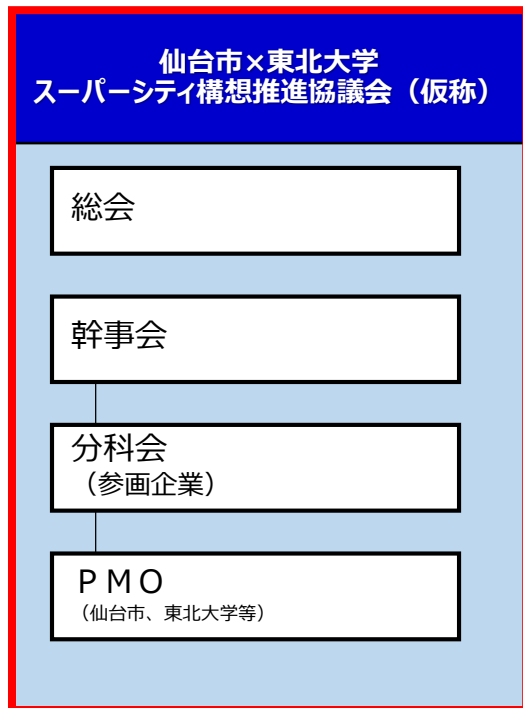


エリア	東北大学 各キャンパス	泉パークタウン	中心部商店街		
スマートシティサービス					
プラットフォーム (データ連携基盤)					

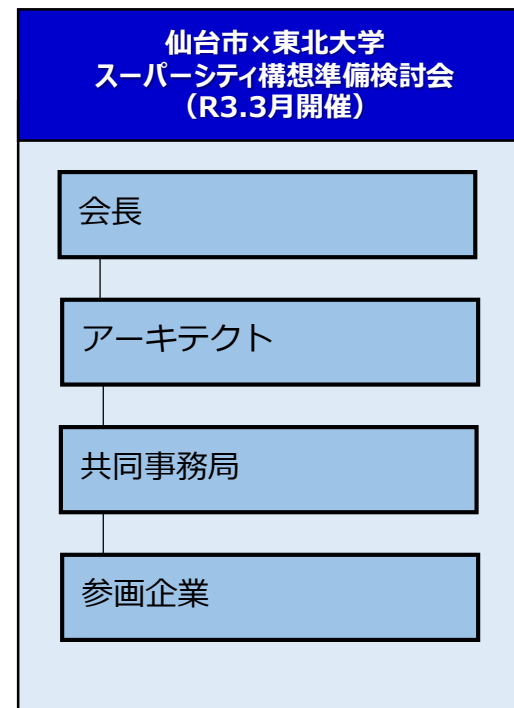
- 
- (1) 仙台市におけるスーパーシティ・スマートシティに関するこれまでの動き
- (2) 仙台市におけるスマートシティの推進体制
- (3) 仙台市×東北大学スーパーシティ構想推進協議会（仮称）の体制**

### (3) ①仙台市×東北大学スーパーシティ構想推進協議会（仮称）の設立

- ◆ 令和3年3月24日（水）、国へのスーパーシティ構想提出に向けて、「仙台市×東北大学スーパーシティ構想準備検討会」を開催。その後、令和3年6月～7月にかけて公募が行われた令和3年度スマートシティ関連事業（内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省）に対して応募を行った事業者を中心に、新たに立ち上げる協議会の体制骨子案を検討。
- ◆ 今後、仙台市×東北大学スーパーシティ構想に関連して行うスーパーシティ・スマートシティ事業は、本協議会を通じて国の公募事業等への応募を行うほか、スーパーシティ・スマートシティ事業に関する会員向けの勉強会等も開催予定。スーパーシティの選定結果にかかわらず、構想実現に向けた取り組みを進める。



発展・拡充  
※将来的に新たな事業者の  
参入も受入



## 2-1. スマートシティの類型

○スマートシティは、対象エリア、目的、取組内容や中心的な役割を果たす主体、都市規模等により様々な形が考えられますが、本書では、主に典型的と考えられる以下の2類型について記載します。  
 ※以下の2つの類型には収集した事例をもとに平均的な姿として整理したものであり、実際は地域ごとに様々な違いがあります。

	行政主導型	エリアマネジメント型
対象エリア	○都市、都市圏スケールのエリアを対象	○特定の地区スケールのエリアを対象
目的・概要	○市民のWell-Being向上等を目的に、行政システムの効率化、各種行政サービスの提供等を行う取組	○地区の価値の向上等を目的に、地区住民の生活、地区内事業者の活動等をサポートするサービスの提供等を行う取組
推進主体	○地方公共団体が主導するコンソーシアム 等	○地域まちづくり団体及び地方公共団体が主導するコンソーシアム 等
地方公共団体の主な役割	○コンソーシアムの組成、ルールづくりや、計画(戦略)策定等を主宰・主導するほか計画の進捗状況を調整 ○各種行政サービスを提供 等	○地域まちづくり団体と協働し、コンソーシアムの組成、計画(戦略)策定等を牽引 ○行政計画、政策における地区の位置づけを明確化するほか、地域まちづくり団体の活動をサポート
主な取組主体	<p>サービス</p> <p>【地方公共団体／スマートシティ運営法人<sup>※1</sup>／民間】</p> <p>○提供サービス例：行政手続、防災、防犯、医療・福祉、健康、モビリティ、教育、産業、インフラ管理 等 ○サービス利用者：市域全体の住民／来街者</p> <p>都市OS</p> <p>【地方公共団体／スマートシティ運営法人】</p> <p>データ</p> <p>【地方公共団体／スマートシティ運営法人／民間】</p>	<p>サービス</p> <p>【地域まちづくり団体<sup>※2</sup>／地方公共団体／民間】</p> <p>○提供サービス例：タウン情報発信、街区マネジメント（インフラ管理、清掃、警備、物流、IT利便）等 ○サービス利用者：特定地区の住民・事業者／来街者</p> <p>都市OS</p> <p>【地方公共団体（地域まちづくり団体）】</p> <p>データ</p> <p>【地域まちづくり団体／地方公共団体／民間】</p>

※1. スマートシティ運営法人:スマートシティを運営するため、推進主体のもとに特別に設置される法人(株式会社、社団法人等)

※2. 地域まちづくり団体:エリアマネジメント法人やTMOなど、特定地区の関係者により構成され、当該地区の活性化や質的向上等の取組を担っている団体

【スマートシティガイドブック（内閣府・総務省・経済産業省・国土交通省スマートシティ官民連携プラットフォーム事務局 2021.04 ver.1.00）から抜粋・加工】

### (3) ②仙台市×東北大学スーパーシティ構想推進協議会（仮称）の対象エリア

◆ これまで仙台市×東北大学スーパーシティ構想では、「青葉山キャンパスを中心とした東北大学の各キャンパス」をフィールドとして想定。

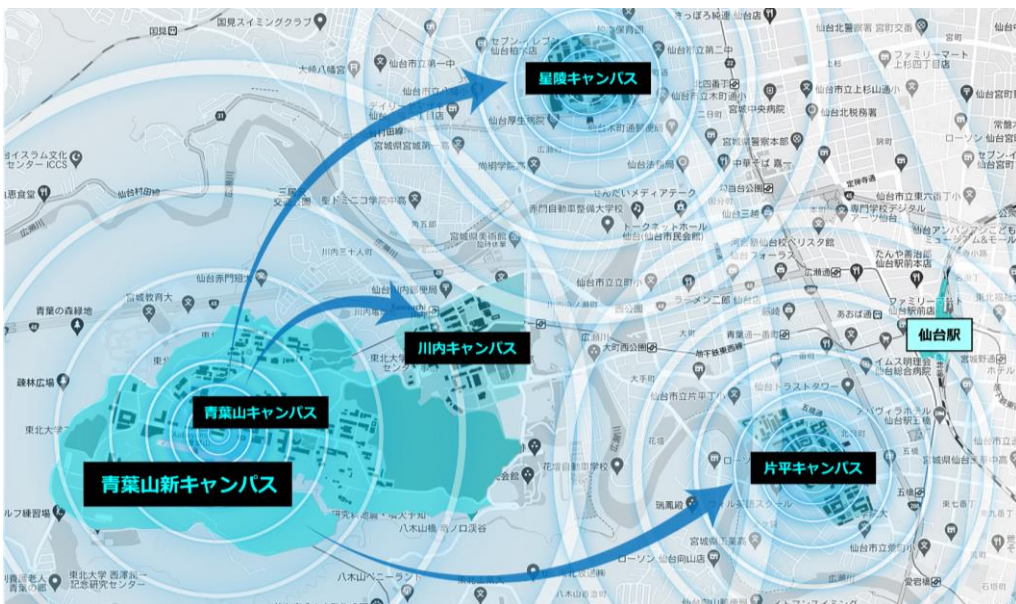
※令和3年1月の事業者公募においても、その旨を明記の上で公募を実施。

◆ そこで、本協議会では、キャンパスを対象エリアとするとともに、以下の事業を対象として検討を行う。

• キャンパス内のみを対象とするもの

• キャンパス内外を同時に対象とするもの（キャンパスから外へと展開するもの）

※キャンパス内の取組みと連携のない事業は、スーパーシティ構想とは外れる取組みであることから、本協議会における対象事業としない。



※ キャンパス内の取組みとの連携のない事業

➡地域課題・社会課題の解決に向けて仙台市役所との連携を希望する事業提案、仙台市内における実証実験の御相談については、仙台市公民連携窓口「クロスセンダイラボ」にて受け付けておりますので、御相談ください。



# 【参考】仙台市×東北大学スーパーシティ構想の概要

- ◆ 仙台市には様々な地域課題があるが、本構想では、特にその中でも若年層の人口流出に着目。
- ◆ 東北大学キャンパスの区域を未来都市ショーケースとして設定し、キャンパス内で実現した価値（サービスや成果）をキャンパス外へ展開することを想定。

## 「仙台市×東北大学スーパーシティ構想」の概要

### 地域の課題

仙台市には、進学・就職・就労等をきっかけとして、年間約13,000人もの住民が宮城県を除く東北5県から転入しているが、同時に、**東京都を中心とする首都圏に対しては年間約14,000人が転出する傾向**にある。また、東日本大震災以降の多様な人材の流入により、市内では非常に高い新規開業率を誇っているもの（H26～H28平均7.03%：20政令市中第2位）、**仙台市に集まってきた多様な人材が十分に定着・活躍できず市外へ転出してしまいうれ多いのが実情**である。

今回実施した「仙台市×東北大学スーパーシティ構想」への意見・アイデア募集では、2週間という短期間ではあったが、学生をはじめとする多くの住民から170件を超える意見・アイデアが提出されており、仙台市に集まってきた多様な住民の中に、まちづくりへの積極的な思いや高い関心をもつ方がいることが明らかになっている。

### 課題解決のための目標

本スーパーシティ構想では、**東北大学キャンパス（約330万平米：東京ドーム約71個分に相当）の区域を未来都市ショーケースとして設定し、多様な価値を創出する住民が自由な発想をもって社会変革に挑戦する場を整備**する。

具体的な住民像としては、学生などの若者や、国籍・文化の異なる多様な留学生、知識集約型社会を担う高度専門家、広範な産業領域からのイノベーション人材、さらには、大学の各種アセットを利用する市民や社会連携事業に参画するサポーターなど、多彩な人材を想定し、彼ら／彼女らが仮想市民（エンゲージメントの主体）としてデジタルを介してつながるプラットフォームを提供する。

さらに、この仮想市民と大学、民間事業者、行政等が協働することによって、「人と社会のつながり」「パーソナルヘルスケア」「ロボットとの共生」「エネルギー自立分散」「マイクロモビリティ」の5領域において、**未来志向の先端サービスを自由な発想で展開し、指定区域での実体験を通して価値の共有・発信を図る**とともに、アジャイルな開発継続によって仙台都市圏の持続的なトランスフォーメーションを牽引する。

本スーパーシティ構想における各種の取組を通じて、最終的には、仙台市のみならず東北全域へとトランスフォーメーションを波及させるとともに、本構想を契機とする新事業の創造、スタートアップの創出、ソーシャルイノベーションの深化などを通して多様な人材の活躍機会を生み出し、東京一極集中に対する多核連携の拠点機能形成を図る。

### 東北大学がもつ3Dのチカラ

東北大学は114年の歴史を有し、2017年には東京大学・京都大学とともに指定国立大学の初期3校に選定されたトップレベルの研究大学（THE世界大学ランキング日本版・2年連続1位）であり、①アイデアを次々と生み出す若い世代のダイナミズム【Dynamism】、②留学生など多様な価値を創出する人材のダイバーシティ【Diversity】、さらには、③夢をかねる研究力【Dream Fulfillment】を具備し、都市トランスフォーメーションの強力なエンジン・駆動力になりうる。

### 基本コンセプトとしての市民エンゲージメント（Civic Engagement）

本スーパーシティ構想の基本コンセプトは、「市民エンゲージメント」であり、仙台市と東北大学は、多様な意見・アイデアを持つ住民が主体的に参画・成長・活躍するデジタルの場（仮想市民ID）とリアルな場（未来都市ショーケース）を提供する。**仮想市民が主役となって取り組む社会変革をデジタル技術とデータ連携によって深化させるとともに、すでに多くの住民が生活し働く「まち」である東北大学キャンパスをショーケースとして5領域の先端サービスを展開し、実体験を通じた価値の共有・発信を図るとともに、市民参加型のアジャイルな開発継続によって都市全体の持続的なトランスフォーメーションを牽引する。**

### 市民との関係づくり ～ デジタルで深化

住民意向調査のパブリックコメントにおいて、本スーパーシティ構想に対する高い関心と期待が示され、本構想の企画に大きな弾みを与えている。仙台の新たなまちづくりに加わり、喜ばれる先端サービスの開発に参画するとともに、積極的にサービス利用者として貢献する方を**仮想市民として承認し**、住民合意と参画意識の向上を浸透させる。同時に、デジタルネットワーク化の中核をなすデータ連携基盤において、「杜民（もりびと）ID（仮称）」を登録発行し、各サービスへの関与に応じて貢献度がみえるデジタルポイントを提供し、サービス実装の持続的な進展を図る。

### 市民が関心を寄せる5つの領域における先端サービス実装

多彩な人材がデジタルを介してつながる場をプラットフォーム化するため、①「人と社会のつながり」を対象領域としたサービスを実装する。ここでは、『学び』『多文化社会イノベーション』『協創』『体験』『防災/レジリエンス』をテーマとしたサービスを開発する。また、市民が自由な発想でサービスを企画・体験・フィードバックする領域として、②日常人間ドックと健康習慣による「パーソナルヘルスケア」、③ロボが生活に溶け込む「ロボットとの共生」、④レジリエントな小型発電と見える化による「エネルギー自立分散」、⑤ラストワンマイルの移動提案である「マイクロモビリティ」において先端サービスを実装する。



## 【参考】参画事業者公募（R3.1.20～R3.2.12）の概要

### 仙台市×東北大学スーパーシティ構想に係る参画事業者公募要項

2. 仙台市では、仙台市×東北大学スーパーシティ構想の実現に向けて、以下の事業者の候補を公募します。

【中略】

- (1) 先端的サービスを実施する主要な事業者の候補  
自らサービス提供主体として事業を推進する意欲がある者
- (2) 国家戦略特別区域法第2条第2項第3号に規定するデータ連携基盤整備事業を実施する主要な事業者の候補

【中略】

6. 事業者選定後について

- ・ 選定された事業者は、スーパーシティ構想の実現に向け、連携して準備を進めていく「主要な事業者の候補」として、仙台市、東北大学及び他の事業者等で構成する「（仮称）仙台市×東北大学スーパーシティ協議会」へ参画するものとします。

### 仙台市×東北大学スーパーシティ構想（案）

2. 対象地域

青葉山キャンパスを中心とした東北大学の各キャンパス

(1) キャンパスの概要

【中略】

- ・ そこで、最先端の技術が集結した成長拠点としての強みを活かし、東北大学青葉山キャンパスを中心として、最先端サービスの導入・実装を進めてまいります。

(2) 地域展開

フェーズⅠ

青葉山キャンパスに先端技術サービスを導入するとともに、ソーシャルイノベーションモデル、ビジネスモデルを構築。市内各キャンパス（星陵キャンパス、片平キャンパス、川内キャンパス）への展開を図る。

フェーズⅡ

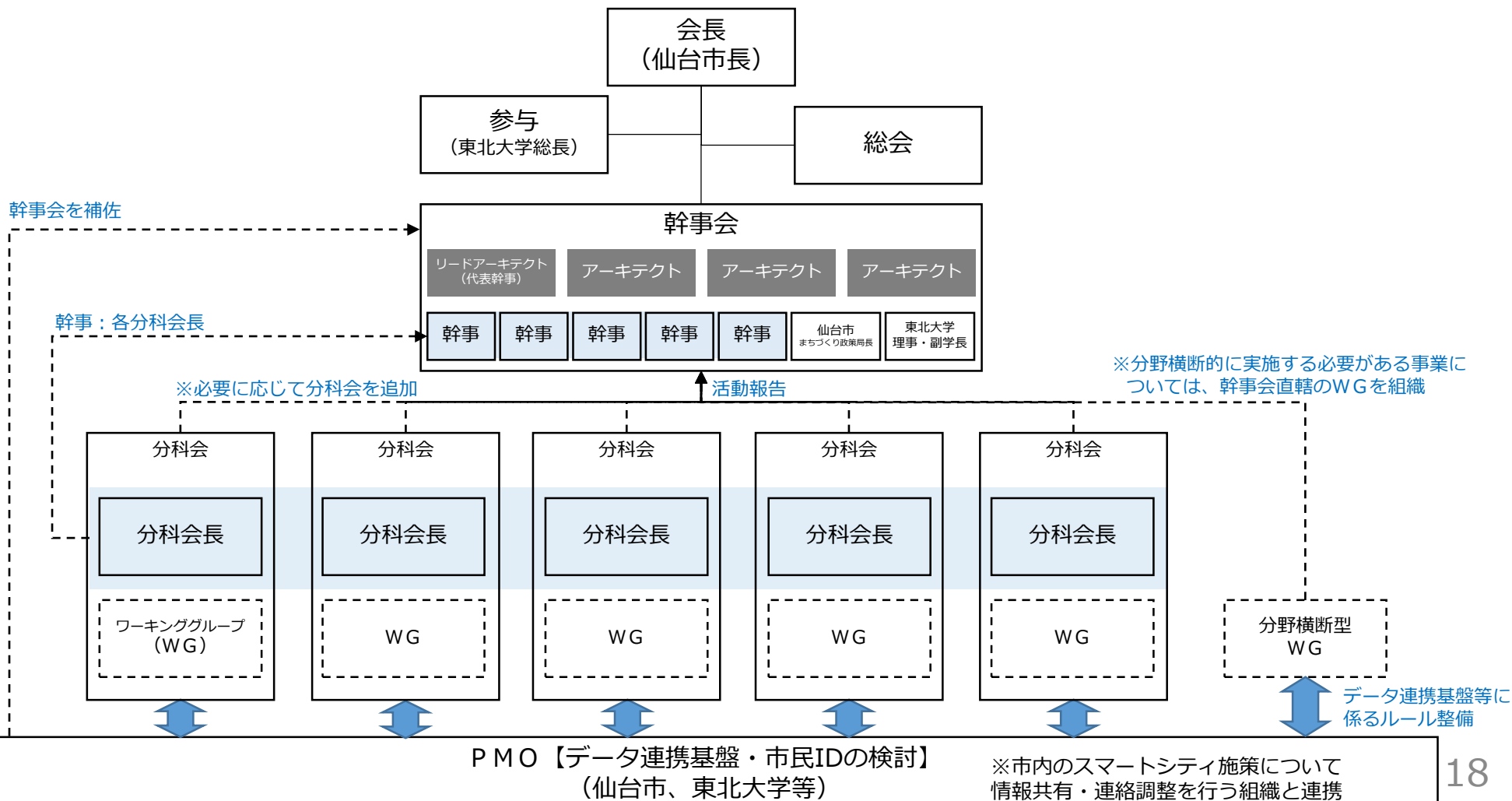
フェーズⅠで実現したサービスについて、市内都心部、中山間地域への展開を図る。

フェーズⅢ

さらに、東北地方における課題解決のための展開を図る。

### (3) ③仙台市×東北大学スーパーシティ構想推進協議会 体制図 (案)

- ◆ 機関として、総会、幹事会、分科会を置く。
- ◆ 幹事会が協議会の中核的機能を担い、協議会の運営に関する事項や施策推進に関する事項、分科会の設置等の事項を審議する。
- ◆ 個々の事業は、分科会ごとに事業計画案を検討・実施し、幹事会へ活動内容を報告する。



### (3) ④機関の概要

#### 総会

- ・ 全団体から構成
- ・ 規約の改正その他の協議会の運営に関する重要事項を審議

#### 幹事会

- ・ 常任幹事（アーキテクト、東北大、仙台市）及び幹事（分科会長を務める団体から選出）から構成
- ・ 分科会の設置改廃、分野間連携の方策検討、国公募事業への応募に係る調整など、協議会運営における中核的な機関

#### 分科会

- ・ 分科会ごとに事業計画案を検討・実施、幹事会へ活動内容を報告
- ・ 分科会内にワーキンググループ（WG）を組織し、分科会、WGの活動を中心に協議会の事業を推進

#### ワーキンググループ

- ・ 分科会内にWGを自由に組織
- ・ 分科会を横断する事業を実施する場合には、幹事会直轄のWGを組織

#### 勉強会

- ・ 会員向けにスーパーシティ、スマートシティの推進に係る勉強会を随時開催

### (3) ⑤ 幹事会の概要

常任幹事

アーキテクト			
統括 (リードアーキテクト)	通信技術・国内外連携	起業家・ダイバーシティ	サイバーセキュリティ
 <p>リードアーキテクト 東北大学 理事・副学長 青木 孝文</p>	 <p>(株)ブロードバンドタワー 代表取締役会長兼CEO 藤原 洋</p>	 <p>合同会社巻組 代表 渡邊 享子</p>	 <p>(株)サイバー・ソリューションズ 代表取締役社長 KEENI Glenn Mansfield</p>

 <p>東北大学 理事・副学長 佐々木 啓一</p>	 <p>仙台市 まちづくり政策局長 梅内 淳</p>
---	--

幹事

各分科会の会長を務める組織から職員を選出  
(※分科会未設置のため空席)

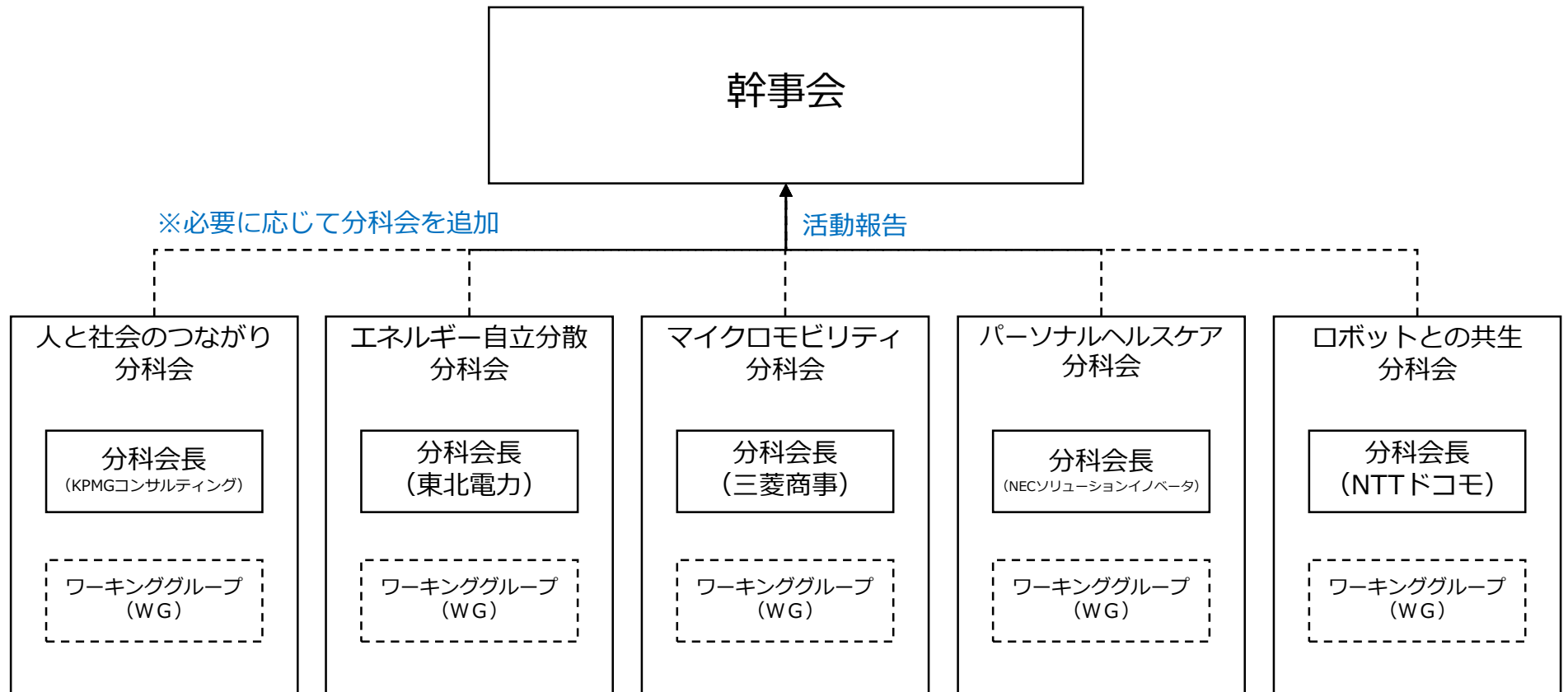


# 分科会の設置等について

令和4年1月28日  
仙台市

# 分科会の概要

- ◆ 仙台市×東北大学スーパーシティ構想として提出した際の5分野の事業を具体的に推進する分科会として、以下の5つの分科会を設置してはどうか。
- ◆ また、設立当初の暫定的な分科会長を選任し、併せて暫定的な幹事を選任してはどうか。  
(暫定的な分科会長・幹事の任期は令和4年5月31日までとし、令和4年5月31日までに改めて各分科会内の互選により分科会長を選出)



# 分科会の構成

## 人と社会のつながり分科会



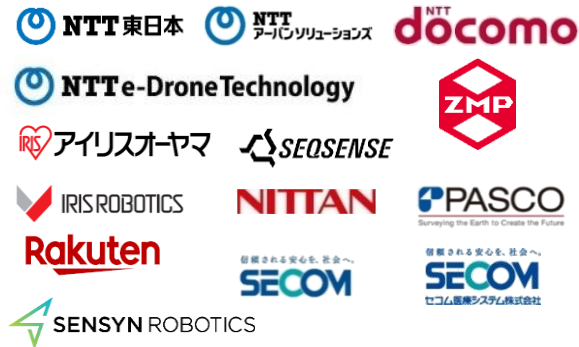
## エネルギー自立分散分科会



## マイクロモビリティ分科会



## ロボットとの共生分科会



## パーソナルヘルスケア分科会

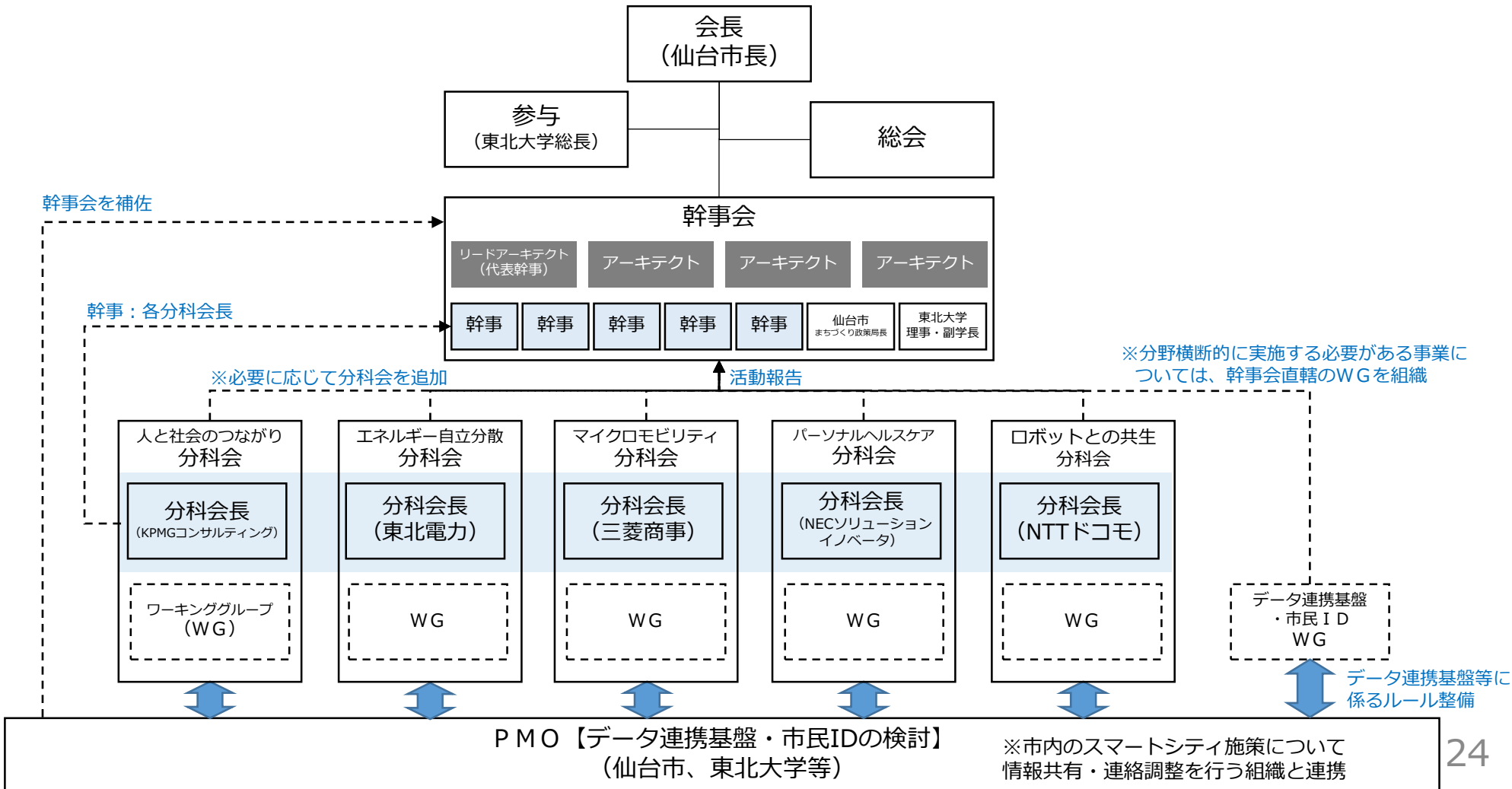


## データ連携基盤・仮想市民サービス ワーキンググループ



# 【参考】分科会設置後の体制図

- ◆ 機関として、総会、幹事会、分科会を置く。
- ◆ 幹事会において協議会の中核的機能を担い、協議会の運営に関する事項や施策推進に関する事項、分科会の設置等の事項を審議する。
- ◆ 個々の事業は、分科会ごとに事業計画案を検討・実施し、幹事会へ活動内容を報告する。





# 次第

1. 開会
2. 挨拶（仙台市長 郡和子）
3. 議事
  - ・規約（案）の承認について  
（事務局説明：仙台市×東北大学スーパーシティ構想推進協議会（仮称）の設立について）
  - ・分科会の設置等について  
（事務局説明：分科会の設置等について）
4. その他
  - ・**アーキテクトからのコメント**
  - ・**今後のスケジュール**
5. 閉会の挨拶（青木リードアーキテクト（東北大学理事・副学長））

## 今後のスケジュール（1月～2月）

1/28  
(Fri)

仙台市×東北大学スーパーシティ構想推進協議会  
【設立総会（第1回総会）】

2/5  
(Sat)

仙台県談会「日本の未来は仙台から」  
出演者：郡会長、青木リードアーキテクト、藤原アーキテクト

2月中

### ◆第1回幹事会

・分科会運営に係る共通ルール（ひな形）の策定 等

### ◆第1回幹事会開催後、各分科会を開催

### ◆デジタル田園都市構想推進交付金TYPE2募集開始予定

※2月中の募集開始に向けてデジタル庁において調整中

## 今後のスケジュール（2月～）

2月～

### 勉強会（随時開催）

- ・スーパーシティ／スマートシティ推進に係る勉強会を開催

4月

### 第2回総会

- ・スーパーシティ構想推進戦略（仮称）を策定予定

6月～

### 国スマートシティ関連事業公募予定



先端技術と文化による  
都市モデルづくり

# 日本の未来は 仙台から



仙台応用情報学  
研究振興財団 ×  
東北大学  
知の創出センター  
連携企画

**第1部  
コンサート**

ピアニスト  
**山岸ルツ子**



**第2部  
鼎談会**

仙台市長  
**郡和子**



株式会社ブロードバンドタワー  
代表取締役会長兼社長CEO  
一般財団法人  
インターネット協会理事長  
**藤原洋**



東北大学理事・副学長  
(企画戦略総務担当・  
プロボスト・CDO)  
**青木孝文**



開会挨拶

公益財団法人仙台応用情報学  
研究振興財団理事長  
**野口正一**



**仙台県談会 — ONLINE —**

● 参加無料 ● 要事前申込

2022  
**2/5** 土  
エル・パーク仙台  
定員 120名

**13:30 ▶ 17:00**

<b>第1部</b>	13:30-14:40 コンサート
視聴場所	ライブビューイングをエル・パーク仙台 ギャラリーホール(仙台三越津和野館 6F)にて開催 <a href="https://www.sendai-ljpcenter.jp/">https://www.sendai-ljpcenter.jp/</a> <small>※引き継ぎ第2部もご視聴いただけます。</small>
<b>第2部</b>	15:00-17:00 鼎談会
視聴方法	オンライン配信 (YouTubeLive) <small>※第1部はオンラインではご視聴いただけません。</small>

参加申込

**申込  
締切**

**1.28 金  
17:00**

参加希望の方は QR コードまたは、下記 URL よりご登録ください。  
[www.tfc.tohoku.ac.jp/tfcfund/2021/dhfa/20220205\\_event.html](http://www.tfc.tohoku.ac.jp/tfcfund/2021/dhfa/20220205_event.html)  
※エル・パーク仙台での視聴ご希望の方は定員(120名)になり次第締め切ります。



[お問合せ先] 東北大学研究推進・支援機構 知の創出センター (担当: 古賀・前田) Email: [tfc\\_webinar2@grp.tohoku.ac.jp](mailto:tfc_webinar2@grp.tohoku.ac.jp)

Premium Sponsor 

Gold Sponsor 

主催：公益財団法人仙台応用情報学研究振興財団／東北大学研究推進・支援機構知の創出センター／東北情報通信懇話会  
共催：一般財団法人インターネット協会 CIC / 一般社団法人東北IT産業推進機構 / 仙台市  
後援：一般社団法人ミュージックプロデュース MHKS / 東日本電信電話株式会社経営事業部



# 次第

1. 開会
2. 挨拶（仙台市長 郡和子）
3. 議事
  - ・規約（案）の承認について  
（事務局説明：仙台市×東北大学スーパーシティ構想推進協議会（仮称）の設立について）
  - ・分科会の設置等について  
（事務局説明：分科会の設置等について）
4. その他
  - ・アーキテクトからのコメント
  - ・今後のスケジュール
5. 閉会の挨拶（青木リードアーキテクト（東北大学理事・副学長））